

「工学系技術センター技術部組織の見直し」に関する説明会 Q & A

Q 1 : 非常勤や派遣での技術職員がかなりいる。その人たちの扱いはどう考えているのか?

A 1 : 現時点では、その人たちを工学系技術センター技術部に包含することは考えていない。組織内で身分・待遇の違いが生じることになり、大きな問題となる。

Q 2 : 安全衛生管理室を「社会環境技術班」に割り当てているが、安全衛生との関わりは化学系が多いので、社会環境系とは異なる。別の班にしてほしい。

A 2 : 班数を検討した結果 4 班となった。班の名称、主な派遣先（班の業務内容）は固まっているものではない。班に所属する人が出来ることを、その班の業務内容とするのが現実的。別の班の方がよければ検討する。

Q 3 : 各班の主な派遣先は、いろいろミックスしてある。派遣先を明確に明示せず、班の構成員ができる業務内容に柔軟に対応する方がいいのでは?

A 3 : そういう考え方もあると思う。主な派遣先の明示について検討したい。

Q 4 : 技術部は工学部全体の組織。工学部全体を見るという考えが重要。

A 4 : 現体制で工学部全体をフォローできるかどうかは別として、考えは当然であり同意見。将来工学部全体の技術支援が出来るようになることを目標とすべきと思う。

Q 5 : 技術部組織の見直しに至った経緯は?

A 5 : 技術部組織は業務内容で組織化したものではなく、業務内容より技術職員の年齢構成を考慮して組織化したものであるのは、当初から明らかであった。外部から組織を見直せとの圧力があつたわけではなく、高齢者が多い技術部の現状を考慮すると見直ししなければ近いうちに組織として存在できなくなる恐れが大きいとの意識をもっている。

Q 6 : 組織見直しのスケジュールは?

A 6 : 今後、以下の会議等で検討・決定していただき、来年 4 月 1 日から新しい組織形態で運用したいと思っている。センター長ミーティング(11 月 15 日)、工学系技術センター管理運営委員会(11 月 17 日)、情報科学研究科専攻長会議(12 月 2 日)、工学研究院代議員会(12 月 3 日)。

Q 7 : 「班で業務を遂行する」とあるが、派遣先上司の指示と技術部からの指示の整合性をどのようにするのか?

A 7 : 新しい組織では、班長の役割が重要になる。班で受け持つ業務の分担や指揮命令、臨機応変の対応等班長のリーダーシップによることとなる。派遣先からの日々の業務依頼（指揮命令）については、班長を通して行なってもらう必要があるかもしれない。当初は混乱も発生するかもしれないが、技術職員の意識改革だけでなく、他の職層も意識改革していただ

き徐々に摩擦が発生しないように努力していく必要があると思う。

Q 8 : 毎回、技術部連絡会議の議事メモは読んでいるが、他の会議や関係する様々な情報を積極的に公開していただきたい。

A 8 : 会議議事録のまとめは、会議に出していない人が読んでもわかるようにまとめることが必要。長文の要約、ポイントの箇条書き列挙等も必要。このような作業は慣れないとなかなかシンドイ。積極的に情報を公開していないと感じられているのであれば、それは情報公開作業に対する体制・能力の不十分さが原因と思う。ホームページを活用しての情報公開を常に意識しているので、時々ホームページを見て欲しい。決して情報公開に消極的なわけではない。

Q 9 : 研究室からの派遣依頼を廃止して、学科・コース等からの派遣依頼がどれだけ出てくるのか? 研究室派遣の技術職員の行き先が見えない。

A 9 : 学科・コース等からの派遣依頼がどの程度出てくるかはわからない。組織見直しにかかわる派遣依頼方法の変更を教員へきちんと説明することと、教員も意識改革していただくことが重要。数十年行ってきた業務と異なる業務に急に変更できないのは当然であり、仮に行き先が見えなくなった場合は、主な派遣先として研究室名は表記しないが、現行研究室業務を引き続き行うことになる。

Q 10 : 情報技術班は、派遣依頼先に派遣するのではなく、専用の部屋に集約した方が良いのでは (安全衛生室のように) ?

A 10 : 1 箇所 (部屋) 配置、数箇所に分散配置 (派遣)、それぞれにメリット・デメリットがあると思う。これまでの業務のあり方に固執せず、業務のあり方 (やり方) の変更も含めて有用な形を追求していくことが大切では。

Q 11 : 先ほど、外部の人に自分が行なっている業務を説明するのに困るとの発言があった (技術職員なのに事務的業務が主。勝手に「技術事務」と言っている)。事務室派遣の場合も事務職員と思われ事務的業務が主体となる。一般的な「技術者」イメージと異なる業務をまとめてはどうだろうか。例えば、連携推進部のように「知識を元に外部と交渉する」業務などもあるので、第三技術室を設け、知識応用班を作る?

A 11 : 班の数は、4 班体制がいいかなあとと思っている (技術職員数の今後の推移から)。事務職員でも技術的業務に携わっている人もいる。技術職員も必要な事務的業務は拒むべきではない。多様な「技術」があるし、多様な「技術職員」がいてもよいと思う。

Q 12 : 情報技術班の専用部屋意見があったが、集中配置か分散配置かより、外部から見て誰が管理者か (誰に話をすればいいのか)、班の業務内容がわかることが重要と思う。

また、「学科・コース等からの派遣依頼は出ないのでは」との意見があったが、仕事は作っていかないとダメと思う。

自分は、工学部に雇われているとの意識はない。北大に雇われていると思っている。

A 12 : 自分のことだけ、研究室のことだけ、工学部のことだけを考えるのではなく、北大における技術職員のあり方、現在だけでなく将来の後輩たちのことも考慮して組織を見直していく必要があると思う。